

第3章 景観資源の保全・活用の仕組みづくり

区内には寺社や民家、地域の景観に個性を与えている近代建築等の歴史的建造物、地域のシンボルとなっている樹木などが多く存在し、地域に根付いた景観として区民等に親しまれています。台東区の魅力ある景観形成を進めるためには、これらの資源の保全・活用を推進するとともに、隠れた資源を積極的に掘り起こしていくことも大切です。そのために、景観法に定める「景観重要建造物・樹木の指定制度」と、景観条例に基づく「景観形成資源・地域風情資源の選定制度」を活用します。

良好な景観形成に寄与している建造物等を景観資源として指定し発信することは、資源の景観的価値について区民、所有者、台東区の共通認識を深める事につながります。

また、台東区は祭りなどの地域の伝統文化、生き生きとした活動や生活風景が景観を形成する重要な要素となっている場合も多く、これらの資源についても幅広く選定することが必要だと考えられます。したがって、景観法に基づく「景観重要建造物・樹木の指定制度」とともに、幅広い資源の指定が可能な制度として景観条例に基づく「景観形成資源・地域風情資源の選定制度」を活用し、景観資源の保全・活用を進めます。

1. 景観重要建造物の指定方針【景観法第8条第2項第3号】

景観形成資源としてリストアップされた建造物について、所有者が指定を希望するものや、所有者の同意が得られ、特に良好な景観形成に重要な役割を果たしていると認められるものを、景観重要建造物として指定します。

■ 景観重要建造物の指定方針

次のいずれかに該当し、道路その他の公共の場所から容易に望見されるものを景観重要建造物として指定する。ただし、いずれの場合も、所有者の同意を要する。

- ① 台東区景観資源（文化財、史跡、旧跡等）、登録有形文化財や東京都選定歴史的建造物等を含む「台東区景観形成資源リスト」に記載され、かつ、所有者が景観重要建造物の指定を希望するもの
- ② 「台東区景観形成資源リスト」に記載されていないが、台東区景観審議会により、歴史的又は文化的な価値を有すると認めたもの
- ③ 地域のランドマークや、自然、歴史、文化等を伝える建造物で、地域からの要望に基づくもので台東区景観審議会が景観上の価値を有すると認めたもの
- ④ 観光ルート等に沿って立地するなど、ネットワーク化させることで台東区のイメージアップにつながるもので台東区景観審議会が景観上の価値を有すると認めたもの
- ⑤ 地域の良好な景観形成の規範となるもので、台東区景観審議会が景観上の価値を有すると認めたもの

2. 景観重要樹木の指定方針【景観法第8条第2項第3号】

景観形成資源としてリストアップされた樹木について、所有者が指定を希望するものや、所有者の同意が得られ、特に良好な景観形成に重要な役割を果たしていると認められるものを、景観重要樹木として指定します。

■ 景観重要樹木の指定方針

次のいずれかに該当し、道路その他の公共の場所から容易に望見されるものを景観重要樹木として指定する。ただし、いずれの場合も、所有者の同意を要する。

- ① 台東区指定の保護樹木のリストに記載され、かつ、所有者が景観重要樹木の指定を希望するもの
- ② 台東区指定の保護樹木のリストに記載されていないが、台東区景観審議会により、ゆとりと潤いや歴史的景観を構成する価値を有すると認めたもの
- ③ 地域のランドマークや、自然、歴史、文化等を伝える樹木で、地域からの要望に基づくもので台東区景観審議会が景観上の価値を有すると認めたもの
- ④ 観光ルート等に沿って立地するなど、ネットワーク化させることで台東区のイメージアップにつながるもので台東区景観審議会が景観上の価値を有すると認めたもの

3. 景観形成資源・地域風情資源の選定による景観資源の保全・活用

【景観条例第 27 条・第 28 条】

良好な景観形成に資するものとして、台東区景観審議会や区民の意見を聴きながら継続的にリストアップします。景観形成資源・地域風情資源の選定は、資源の重要性を共通して認識するためにも積極的に行われるべきものであるため、所有者や管理者の意向も踏まえながら選定していきます。

(1) 指定の対象

① 景観関連の他制度によくリスト化されているもの

- ・「台東区景観形成資源リスト」、保護樹木、景観資源マップ、思い出の景観 30 選等のリストに記載されているもの

② 地域の自然、歴史、文化を伝えるもの

- ・さまざまな時代の地域の記憶を伝える歴史的な資源や、生活文化を表す資源
- ・祭りなどの地域に根付いている伝統文化等の生き生きとした活動の風景
- ・歴史的に重視されてきた区や地域を代表する眺め

③ 地域を代表するものや、シンボルやランドマークとなっているもの

- ・地域のシンボルとなる資源として、街角でアイ・ストップとなっている樹木や、優れたデザインを持つ建造物等
- ・地域に親しまれ、地域を代表する眺め

④ 資源をネットワーク化することで効果的な景観形成に資するもの

- ・観光ルート等に沿って立地しており、指定することにより地域の観光動線等を強化でき、台東区のイメージアップにつながる建造物や樹木等

⑤ 地域の良好な景観の規範となっており、美しく維持・管理されているもの

- ・地域の景観づくりにおける規範となるような優れたデザインの建造物
- ・区民が主体となって美しくしつらえている路地景観など、適切な維持・管理により地域の景観づくりに寄与しているもの

4. 景観資源を活かした景観形成の推進

(1) 保全・活用に対する支援制度

景観重要建造物・樹木の指定や景観形成資源・地域風情資源の選定に加えて、以下のような支援により景観資源の保全・活用を進め、その資源の持つ魅力を高め、広めていきます。

- ・ 景観重要建造物・樹木に指定された景観資源について、現状を把握し、所有者等との情報共有を図ります。
- ・ 景観資源の保全に対する専門家の派遣や技術的な支援等を行います。
- ・ 地域住民による景観資源の保全・活用の取り組みに対する技術的支援や活動助成の仕組みを構築します。
- ・ さまざまな媒体を活用し、景観資源の効果的なPRを推進します。

(2) 景観資源を活かした周辺のまちなみづくり

景観資源は、単独で存在するよりも周辺の雰囲気と一体となることで、その魅力が一層引き立ちます。地域の歴史を体現し、シンボルとなる建造物などは、景観資源自体を引き立てる要素となります。このように、周辺の景観づくりは、景観資源の魅力を高めるヒントとなることが考えられます。景観資源の魅力を最大限に引き出すためにも、景観資源の周辺での建築行為等に対する景観配慮や景観誘導を求め、景観資源を活かしたまちなみの形成を進めます。

